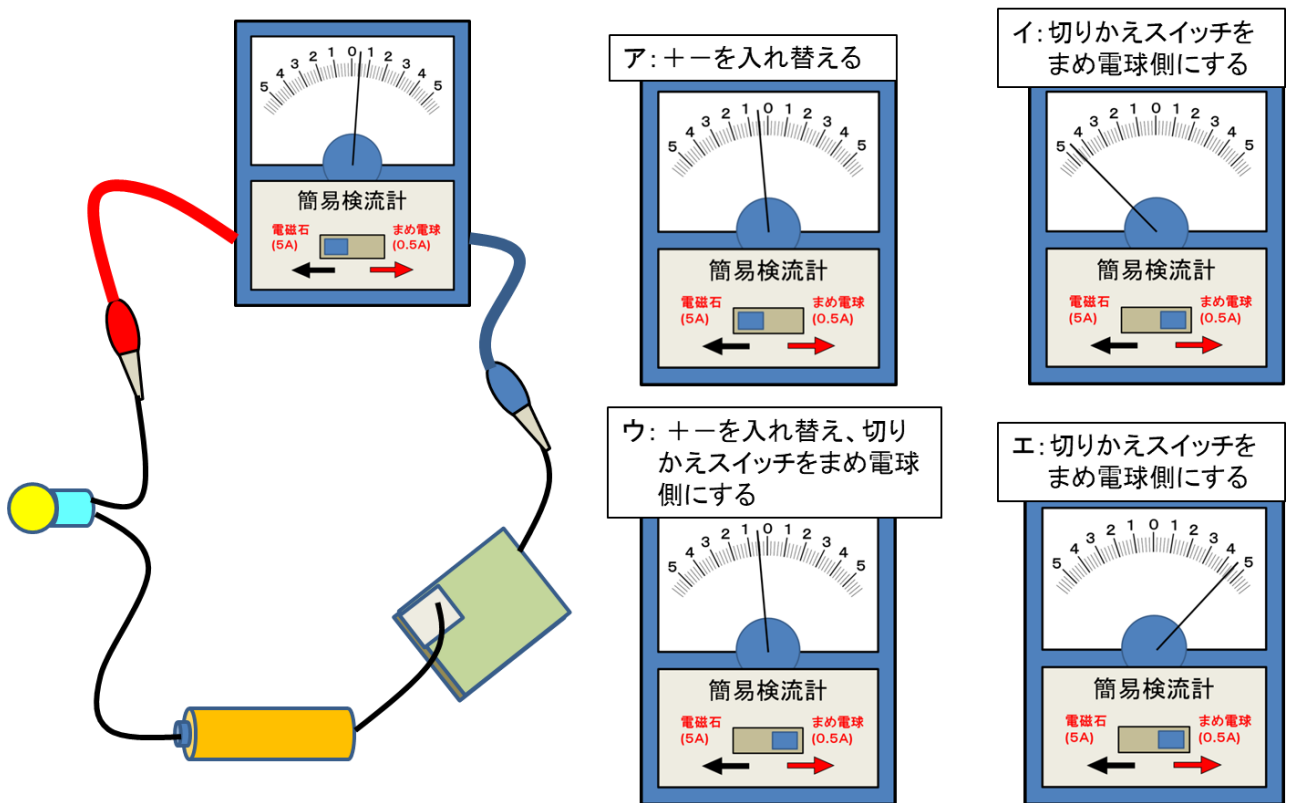


## 【かんい検流計の使い方】

- ① 切りかえスイッチは、大きな電流をはかることができる「電磁石(5 A)」がわに入れる。
- ② 回路のとちゅうにつなぐ。
- ③ 回路のスイッチをおして電流を流す。
- ④ かんい検流計のはりがしめす目もりを読む。はりのふれる向きが電流の向きになる。また、はりがしめす目もりの数字が、電流の大きさになる。
- ⑤ かんい検流計のはりがしめす目もりの数字が0.5より小さいときは、切りかえスイッチを「豆電球(0.5 A)」がわにする。その時の電流の大きさは、はりがしめす目もりの数字の10分の1になる。



検流計を上図のようにつないだとき、はりが図のようにふれました。

電流を正確に測るために行う操作と、その時のかんい検流計の様子として正しいのははどれか。また、この時の電流の大きさは何A(アンペア)か答えなさい。